

<http://www.jrc.or.jp>



プレスリリース

日本赤十字社

血液事業本部

平成 20 年 12 月 17 日

献血で糖尿病チェック！

日本赤十字社では、来年3月中旬より
献血者全員に糖尿病関連検査を開始します

現在、日本における糖尿病患者は、予備群も含めると約1,870万人といわれています。生活習慣や社会環境の変化に伴って急速に増加している糖尿病は、初期段階では、自覚症状がない場合が多いため、気づかずに放置されていることが少なくなく、長期間治療せずにいると糖尿病が悪化し、やがて神経障害や網膜症等の合併症を起こします。糖尿病の予防には、ご自身の血糖値を定期的に検査することが有用であるため、日本赤十字社では、献血者にお知らせする検査成績への糖尿病関連検査項目の追加を検討してまいりました。そして、平成21年3月中旬よりグリコアルブミン検査を開始いたします。

【グリコアルブミン検査】

グリコアルブミンとは、血液中に存在するアルブミンというタンパク質が血液中のブドウ糖（＝グルコース）と結合してできる物質です。

グリコアルブミンは血液中のブドウ糖量（＝血糖値）とその値が続いた時間に比例するため、グリコアルブミンを測定することで血糖値の変化を間接的に知ることができます。グリコアルブミンは過去約2週間の平均血糖値を反映しているといわれています。

【取材のご案内】

検査開始日が決まりましたら、平成21年3月上旬に日本赤十字社辰巳ビル（東京都江東区辰巳2-1-67）におきまして会見並びに施設公開を予定しています。近くなりましたら再度、ご案内申し上げますので、よろしくお願いいたします。

■ お問い合わせ ■

日本赤十字社 （東京都港区芝大門 1-1-3）

血液事業本部 経営企画課広報担当 土田 電話(03)3437-7507(ダイヤルイン)